**5　地域リハビリ提供体制推進事業**

 　　住民が住み慣れた地域で自分らしく、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現をめざし、圏域の地域リハビリテーションの課題の共通認識と課題への具体的な対応策について検討し、取り組みを進めた。

　(1)甲賀管内地域リハビリテーション担当者会議

日　時： 平成30年7月12日（木）

内　容： ・甲賀圏域における地域リハビリテーションの取り組みの方向性・事業計画

・甲賀圏域地域リハビリテーション推進会議について

・自立支援型地域ケア会議を通した自立支援型ケアマネジメントの推進につ

いて

　　　　 ・若い人（2号被保険者・前期高齢者等）の行き場づくりにむけて

　　参加者：9人

 (4)従事者研修会

「地域リハビリテーション推進研修会」～住宅改修を学ぼう～

　目的：住宅改修に関わる専門職が、住宅改修の基本や制度理解を深め、適正な改修等ができるため。

　講演：「多職種で学ぶ　住宅改修」

　　　　まちとくらしの研究所　所長（一級建築士）　藤井　三郎　氏

　参加者：48人

(5)地域リハビリテーション推進会議

　　日時：平成30年7月30日（月）

　　内容：・甲賀圏域の地域リハビリテーションの取り組みの方向性・事業計画について

　　　　　・若い人（2号被保険者・前期高齢者等）の行き場づくりにむけて

　　　　　・自立支援型地域ケア会議を通した自立支援型ケアマネジメントの推進について

　　参加者：20人

**6　住み慣れた地域での療養・看取り推進事業**

 　　在宅におけるターミナルケア・看取りを推進するため、在宅療養に携わる関係者のネットワークの構築を図り、従事者の技術力の向上および一般住民の啓発を行った。

(1)関係者のネットワークの構築、従事者研修会等

①甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇話会（共催）

○第17回　開催日：平成30年5月31日（木）14：00～16：00

事例検討「入院中の支援と、在宅療養とのギャップを埋めるために何ができるのか」

～９０代女性、大腿骨頸部骨折ケースの退院支援を通して～

報告者　甲南病院 地域医療連携室 入江 龍介 氏

　　　〃　　 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ部　西口 純平氏

仁生会在宅医療支援センターこうなん居宅介護支援事業所 林 巳恵子氏

ほねつぎ介護ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ希望ヶ丘　小谷 智世 氏

せせらぎ苑ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ　西村 裕次 氏

取組紹介１）看護小規模多機能型居宅介護｢そまの音」の紹介　　高田 幸子 氏

２）甲賀市在宅医療・介護連携推進事業

甲賀市健康福祉部水口医療介護ｾﾝﾀｰ　吉本ひとみ　氏

３）湖南市における在宅医療拠点整備事業について

湖南市高齢福祉課 　奥邨　純也　氏

参加者　63人

 　②甲賀圏域地域連携検討会（共催）

圏域の医療介護関係者が共に学び、意見交換を行うことで、その資質向上と顔の見える関係づくり（ネットワークづくり）を進め、「医療と介護の連携」による在宅療養支援体制の構築を目指す。事務局を公立甲賀病院・甲賀市・湖南市・甲賀保健所が担う。

　　　○会議

　　　　　　開催日：5月14日、7月9日、9月10日、1月15日、3月11日

　　　　　　内容：入退院支援ルールの評価と改善についての検討、病院と介護支援専門員の連絡調整会議企画、情報交換等

③在宅医療従事者研修（共催）

　　医療依存度が高くても住み慣れた地域で生活したいという希望や、在宅で最期を迎えたいという選択肢を実現するためには、医療福祉サービスを総合的に受けられる地域づくり、地域包括ケアの構築が求められている。地域医療の中核である、急性期病院の退院支援の先駆的な取り組みを知ることで、地域の医療福祉を育てる視点を学ぶ。（公立甲賀病院主催）

　講演「地域包括ケア推進のために病院ができること」

講師　社会医療法人石川記念会　HITO病院　田渕典子副院長

開催日：平成30年8月31日(金）16：30～18：00

場所：公立甲賀病院　2階　講堂

参加者：68名

④在宅医療従事者スキルアップ研修（共催）

地域の医療従事者が公立甲賀病院の医療技術を参考に、在宅医療のスキルを向上させることを目的とする。（公立甲賀病院主催）

　（ア）講演「慢性呼吸不全を考える」～在宅酸素療法を中心に～

　　　　　　公立甲賀病院　呼吸器内科医長　樋上 雄一

開催日：平成31年2月7日（木）17：30～19：30

場所：公立甲賀病院　２階　講堂

参加者：約60名

**7　退院支援ルール策定・評価事業**

 　　医療と介護の切れ目のない連携を図るため、病院スタッフと介護支援専門員の連携に関する調査にて評価を行い、今後必要な取り組みについて検討した。

(1)病院と介護支援専門員の連携に関する調査の実施

目的：入退院における病院と介護支援専門員の連携状況を把握する。

時期：平成30年７月

対象：居宅介護支援事業所、小規模多機能事業所、地域包括支援センターの介護支援専門員

内容：平成30年6月に担当したケースの入退院時の連携状況等

対象：138人　　回答数111人　　（回収率80.4％）

（2)病院と介護支援専門員の連携調整会議の開催

目的：医療と介護の切れ目のない連携を図るため、病院関係者と介護支援専門員等の入退院支援における連携のあり方を協議検討する。

開催日：平成30年11月12日（月）14：00～16：00

内容：病院と介護支援専門員の連携に関する調査結果の報告、調査から抽出した課題について具体的対応を意見交換

参加者：病院看護部長・地域連携担当者、介護支援専門員、市地域包括支援センター職員等　　83人

(3)自宅の写真の撮り方のポイント冊子配布

目的と使用方法：退院後、安心して在宅で療養するために、ご自宅の玄関やトイレ、浴槽の高さなどを自身で撮影、高さなど測定して、入院中のリハビリテーションや看護に活用する。

配布先：居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、病院地域連携室

**8　地域連携クリティカルパス推進事業**

医療機関から在宅へ安心して戻れるよう切れ目のない医療を提供し、急性期から回復期、維持期に至るまでの地域連携の推進を図るため、地域連携クリティカルパス推進事業を実施。甲賀地域では、平成21年度から脳卒中とがんの地域連携クリティカルパスの試行運用を開始、平成22年度からがん地域連携クリティカルパスを県内統一様式で開始、平成24年3月から「甲賀地域連携クリティカルパス(脳卒中)」運用を開始した。平成26年度からは「脳卒中地域連携パスを県内統一様式」で運用。今年度の運用実績は0件。